

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	まめの木八千代中央店（放課後等デイサービス・児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2024年 7月 1日 ～ 2024年 7月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2024年 7月 1日 ～ 2024年 7月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 8月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの言葉の掛け合い、触れ合い等によりコミュニケーションを高め、友達作りと個々の居場所づくりができていくこと。	子どもたちが色々な場面で、自主的に参加できるように、一人ひとりのペースを尊重し、サポートしている。また、子どもたちが主体的に、動き活動しやすい環境を整える工夫をしているところ。	より興味を持てる活動の提供と、主体的活動となるようプログラムを精査していく。
2	個々に合わせた個別プログラムによって得意なこと、苦手なことに個別対応しているところ。	子どもたちの個々の成長に、スタッフは細部に視野を広げ接し、新たな発見を保護者様、スタッフと情報共有しているところ。	継続していくことでより細かなプログラムを作成して対応していく。
3	ご家庭の事情に寄り添いながら利用予定等の調整を行っている。	ご家族が、安定して日常生活が送れることでご利用者様も安心して過ごせるように配慮している。	引き続き、保護者様に寄り添いながら支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域、各所との交流の場面が不十分である。	地域の催し等への参加を模索し、地域の方々に当事業所を認識していただけるよう取り組んでいく。	保護者様の要望お話を伺いながら、必要とされている交流場面などを検討していきます。
2	ご家族様に対し、グループでの相談援助や研修会などの情報提供の機会の方は設けられていない。	当事業所としては、個別対応ではあるが連絡帳等を介し、各ご家庭のお問い合わせに情報提供を行っているが、より良い支援を提供する為には、外部研修、参観等には工夫が必要である。	保護者様が必要とされる、情報が届くように出来るように取り組みたい。
3			

児童発達支援・放課後デイ自己評価表(八千代中央店) 従業員向け  
令和6年7月実施

		チェック項目	はい	どちらともない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	83%	17%	0%	個別や集団の療育内容により空間を分けたり変えたりしている。車いすを使用する児童が多いときは、スペースが狭く感じることがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	男女に合わせたスタッフ配置をしている。児童の障がいの重さにより、スタッフを増やし対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	50%	0%	取っ手などをつけて対応しているが足りない部分もある
業務 改善	4	業務改善を進めるためにPDCAサイクルに広く職員が参加しているか	83%	17%	0%	ミーティングで動きの確認が出来ているので、スタッフが共通の目的のために動けるのでやりやすい。
	5	保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83%	17%	0%	日々のお便り帳での情報の共有、電話などでも聞き取りをしている。個別での対応と集団での対応をしている
	6	自己評価の結果を、事務所の会報やホームページ等で公開しているか	83%	17%	0%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	0%	100%	外部評価はおこなっていない
適切 な 支 援 の 提 供	8	職員の資質の向上のために研修機会を確保しているか	83%	17%	0%	外部研修の参加、内部での勉強会など促している。また、個人で行った研修などの資料をスタッフに配布し、相互研修を実施
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズを客観的に分析したうえで支援計画を作成しているか	83%	17%	0%	半年に1度の保護者との面談、個別支援計画の見直しをし、現在の親子のニーズを聞き取りし療育に生かしている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	83%	17%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	ミーティングでの話し合いを基にプログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	83%	17%	0%	月のテーマを決めて、曜日ごとの療育プログラムで児童が楽しめる内容を工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%	17%	0%	状況に応じられるようにプログラムを作成しているが、十分ではない。
	14	子どもの状況に応じて、個別、集団活動を組み合わせて支援計画を作成しているか	83%	17%	0%	状況に応じての支援計画を作成するよう心掛けている。
	15	支援開始前に職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担を確認しているか	100%	0%	0%	毎日開所前にミーティングし、療育内容の確認、スタッフ配置の確認をしている
	16	支援終了後には打ち合わせをし、支援の対策を共有しているか	50%	50%	0%	本日の反省、明日の流れの確認などを共有している
関 係 機 関 連 携 や 関 保 護 者 と の	17	支援の記録を取ることで支援の検証、改善につなげているか	100%	0%	0%	お便り帳、日報に記載し、情報の共有や改善をしやすいようにしている
	18	定期的にモニタリングを行い支援計画の見直しの必要性を判断しているか	83%	17%	0%	半年に一度は利用児童全員見直し。体調の変化があった児童の場合は、その都度情報を頂き、支援計画の見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	83%	17%	0%	複数の活動を児童の体調や障がいに合わせて取り組んでいる
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通したふさわしいものが参画しているか	67%	33%	0%	児童の担当者が主催した会議に対し、参加させて貰うことも
	21	学校との情報共有を適切に行っているか	67%	33%	0%	保護者、相談支援員を通して情報の共有をおこなっている
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合には、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	33%	67%	0%	医師の指示書を頂いている
	23	就学前に使用していた保育所、幼稚園、児童発達支援事業所との間で支援内容等の情報を共有しているか	33%	67%	0%	就学にあたり保護者を通し学校へ情報の共有を行っている
	24	卒業後、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、支援内容等の情報を提供しているか	67%	33%	0%	連絡会などを通して、情報交換したり必要な助言をもらったりしている
	25	児童発達支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を行っているか。	67%	33%	0%	連絡会などを通して、情報交換したり必要な助言をもらったりしている
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子供と活動する機会があるか	50%	50%	0%	活動の機会をとれない状況
	27	地域自立支援協議会とうへ積極的に参加しているか	33%	67%	0%	協議会に参加し、現状や要望なども伝えている
	28	子どもの状況を保護者に伝え、発達状況や課題を共有しているか	100%	0%	0%	お便り帳での保護者とのやりとりで課題などは共有出来ている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレントトレーニングを行っているか。	33%	67%	0%	相談員さんと相談しながら必要に応じて支援している。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	67%	33%	0%	契約時の説明、利用しながらも変更があった場合にはその都度説明をしている
	31	保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言支援を行っているか	83%	17%	0%	電話だけではうまく伝えられないときは、面談している
	32	父母会の支援をしたり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	17%	83%	0%	保護者からの要望は見受けられない。
	33	保護者からの苦情について、対応の整備をすとも、迅速に対応しているか	100%	0%	0%	窓口を通して担当者が連絡を取り、迅速に対応するよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し保護者に情報を伝えているか	83%	17%	0%	通信を毎月保護者向けに配布している
非 常 時 の 対 応	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	個人情報の同意書を貰い、その範囲の中での情報共有をしている
	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	83%	17%	0%	身体の不自由なお子様への預かりもしているため、安全に過ごすために情報伝達、共有をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待す等、地域に開かれた運営事業を図っているか	17%	67%	17%	近所とは交流をもっているが、行事をおこなったりはしていない。
	38	緊急時対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	83%	17%	0%	策定し、共有できる部分に設置している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか。	100%	0%	0%	定期的に実施。非常食等もストックしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか。	83%	17%	0%	事業所間での勉強会などへの参加により対応している。
	41	やむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、保護者や子供に十分な説明をした上で計画に記載しているか	83%	17%	0%	必ず保護者の同意を得たうえで、必要であれば計画に記載している。
42	食べ物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	保護者との連携の上でおやつを提供をしている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	17%	0%	個別の部分で、ヒヤリハットの作成共有をしている。	

児童発達支援・放課後デイ自己評価表(八千代中央店) 保護者向け  
令和6年7月実施

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 備 体 制	1	子どもの活動スペースは十分確保されているか	94%	6%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	94%	6%		専門性についての説明はあまりわからない
	3	事業所の設備等はバリアフリー化がされているか	82%	18%		
適 切 な 支 援	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、サービス計画が作成されているか	94%	6%		伝えそびれている部分もあるので伝えるようにします
	5	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	88%	12%		季節などを考慮した月間プログラムをたてて考えてくれている。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子供と活動する機会があるか	25%	65%	10%	特に望んでいない
適 切 な 支 援 の 提 供	7	支援の内容、利用者の負担等について丁寧な説明がなされているか	100%			丁寧に説明してくれている
	8	日ごろから子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	100%			お便り長で丁寧に状況を知らせてくれる。
	9	保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			電話対応、送迎時にも話ができる。
	10	父母会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10%	60%	30%	特に保護者同士の連携を希望しない
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子供や保護者に周知説明し、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応しているか	86%	18%	6%	苦情がないのでなんともいえない
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			細かく丁寧に対応してくれる
	13	定期的に開放やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に発信しているか	88%	6%	6%	毎月、お便りを発行してくれる。写真のプリントをもっとほしい。
の 非 対 常 時	14	個人情報に十分注意しているか	100%			注意してくれている
	15	非常時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に感知説明されているか	82%	18%		
満 足 度	16	非常災害発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	65%	35%		
	17	子供は場所を楽しみにしているか	100%			
	18	事業所の支援に満足しているか	100%			